

学融合推進センター News Letter 第1号

The Center for the Promotion of Integrated Sciences (CPIS)

July/2010

学融合推進センター発足

昨年度まで葉山高等研究センターとして組織されて来た活動を引き継ぎ、さらに本学の全学共同教育研究施設として学融合推進センターが本年度より発足しました。全学に開かれた自由闊達な学術交流を行う本学の教育研究拠点として、また学融合による学際的で先導的な学問分野を開拓することを目的として様々な事業に取り組んでいく予定です。

1. センター長からのご挨拶

葉山高等教育センターが学融合推進センターへ衣替えして3ヵ月が経ちました。これまで行ってきた研究事業の上に、教育事業、全学事業、基盤整備事業を加えた4事業を統合的に推進することにより、名実ともに総研大の教育研究拠点として活動することを目的としています。それらの事業を円滑に推進するためには全学での情報共有が不可欠であると考え、本ニュースレターでセンター活動の概要を皆様にお伝えすることにしました。当面は、各種の募集、行事案内、活動報告のあらましを掲載し、その詳細はホームページをご覧くださいという方針で進めたいと思っています。学融合推進センターの活動が総研大のメンバーによく見えるようにするとともに、皆様の意見を反映していくための方法もあります。今後、センターに多くのご支援とご協力をお願いしたいと思っています。

平成22年6月末日 学融合推進センター長 池内 了

2. 学融合推進センター 事業内容

学融合推進センターの柱となる4つの事業は以下のような内容となります。

1. 学融合研究事業

本学における様々な研究活動を支援し第一線の研究を行うことができる環境を整えていくと共に、本学の特性を活かした学際性の高い新研究分野の開拓に向けた活動を行います。

2. 学融合教育事業

本学の特性を活かした学際性の高い新教育プログラムの開発を目指すと共に、専門性が高いだけではなく広い視野を持った世界に通用する研究者の育成に向けた総合教育活動を実施します。

3. 学術交流事業

昨年度まで行われていた全学教育交流事業を今後も継続し、本学の教員と学生が連係して実施する学術的な交流活動の企画・運営を行います。

4. 基盤整備事業

本学の各研究科・各専攻で行われている教育・研究活動を円滑に進める為に必要な環境の整備の中でも特に集約して行うことが適当と思われる事柄について企画・実施します。

3. 学融合推進センター 組織図

センター長

池内 了 理事

センター運営委員 (各研究科より1名、センター長が指名した者1名)

| | | |
|--------|----|----------------|
| 中村 康夫 | 教授 | 文化科学研究科 |
| 齋藤 努 | 教授 | 文化科学研究科 |
| 岡村 昇一 | 教授 | 物理科学研究科 |
| 片山 伸彦 | 教授 | 高エネルギー加速器科学研究科 |
| 米田 友洋 | 教授 | 複合科学研究科 |
| 小林 悟 | 教授 | 生命科学研究所 |
| 蟻川 謙太郎 | 教授 | 先導科学研究科 |

センター協力教員 (先導科学研究科の教員5名)

| | | |
|---------|----|------------------------|
| 長谷川 真理子 | 教授 | 副センター長 兼 学融合教育事業責任者 |
| 佐々木 顕 | 教授 | 学融合研究事業責任者 |
| 颯田 葉子 | 教授 | 学術交流事業責任者 |
| 平田 光司 | 教授 | 学融合教育事業責任者 |
| 渡邊 正勝 | 教授 | 学融合研究事業責任者 |

センター専任教員

| | | |
|-------|----|----------|
| 岩瀬 峰代 | 講師 | 学術交流事業担当 |
| 奥本 素子 | 助教 | 学術交流事業担当 |
| 眞山 聡 | 助教 | 基盤整備事業担当 |
| 見上 公一 | 助教 | 学融合各事業全般 |
| 村尾 静二 | 助教 | 基盤整備事業担当 |

その他にセンター長が必要と認める職員として

| | | |
|-------|----------------|-----------|
| 米本 昌平 | 教授 (非常勤) | 学融合教育事業担当 |
| 麻生 武彦 | 教授 (非常勤) | 基盤整備事業担当 |
| 桂 勳 | 教育アドバイザー | 学融合教育事業担当 |
| 洞田 慎一 | 情報ネットワークセンター助教 | 基盤整備事業担当 |

(学融合推進センター規則第4条に拠る・順不同)

学融合研究事業

1. 戦略型研究プロジェクト

本学の特性を活かした学際的な新研究領域の創成を目的として、戦略型研究プロジェクトのテーマ及び参画ユニットの公募を行いました。採択されたプロジェクトでは平成23年度より最長で3年間の大型研究が実施され、平成22年度は研究テーマ実施における準備期間として位置づけられています。公募は6月30日に締め切られ、7月以降に書類審査及びヒアリングが行われる予定です。採択された研究プロジェクトの詳細につきましては次回のニュースレターにてご報告する予定です。

2. その他の公募型研究の採択

5月に公募が行われた公募型共同研究・若手研究者研究支援・女性研究者研究支援について6月21日に都内でセンター運営委員会が開催され、ヒアリングを含めた審査が行われました。申請件数と採択件数に関しては以下の通りです。

| | 公募型共同研究 | 若手研究者 | 女性研究者 | 合計 |
|------|---------|-------|-------|-----|
| 申請件数 | 17件 | 28件 | 12件 | 57件 |
| 採択件数 | 7件* | 14件 | 7件 | 28件 |

* これ以外に3件が継続審議中

全体で57件の応募がありましたが6月21日の時点では合計で28件の採択が決定され、それ以外に公募型共同研究の3件が継続審議中となっております。その結果、最終的な採択率としては50%を超えることが見込まれます。また今回の公募では若手研究者・女性研究者からの申請件数が予想を上回ったため、運営委員会において今後も予算の許す範囲で積極的な支援を進めていくことが確認されました。採択された研究の具体的な内容については今後研究プロジェクト一覧として学融合推進センターのホームページ上に掲載する予定です。

研究プロジェクト一覧：<http://center.soken.ac.jp/project2/index.html>

学融合推進センター 事業予定表

学融合推進センターでは7月から10月にかけて下記の事業を行います。各事業の詳細につきましては本学のホームページにてご確認いただくか、担当者までご連絡ください。

総合研究大学院大学 HP：<http://www.soken.ac.jp/event/index.html>

| | | |
|----------|---|-----------------------------|
| 7/17~19 | 研究者入門 - 研究者コミュニティへの招待 担当 岩瀬 (学融合推進センター) | iwase_mineyo(AT)soken.ac.jp |
| 7/20~31 | 総研大レクチャー: 学術映像の基礎 -みる・つくる- 担当 村尾 (学融合推進センター) | murao_seiji(AT)soken.ac.jp |
| 8/30~9/3 | 総研大レクチャー: 科学における社会リテラシー 担当 平田 (教授・生命共生体進化学専攻) | hirata(AT)soken.ac.jp |
| 9/7~10 | 総研大レクチャー: 科学コミュニケーションと研究者のキャリア 担当 森田 (准教授・加速器科学専攻) | yohei.morita(AT)kek.jp |
| 10/7・8 | 後学期学生セミナー 担当 岩瀬 (学融合推進センター) | iwase_mineyo(AT)soken.ac.jp |
| 10/9・10 | 日本文化を学ぶコース 担当 岩瀬 (学融合推進センター) | iwase_mineyo(AT)soken.ac.jp |
| 10/23・24 | 総研大ワークショップ 担当 久本 (学生・宇宙科学専攻) | SokendaiWS(AT)gmail.com |
| 10/30 | 国際シンポジウム: 現代中国における雲南少数民族芸能の現状と未来(仮) 担当 伊藤 (学生・地域文化学専攻) | |

注：担当者にご連絡の際は(AT)を@に変換して下さい

編集担当者より

具体的な活動内容につきましては学融合推進センターのホームページに順次掲載される予定ですが、年に4回程度このようなニュースレターとしても情報をお伝えしていきます。次号のニュースレターは10月頃に発行の予定で、新たに組織されましたニュースレター編集委員会よりお届けいたします。(文責：見上)

学融合推進センター HP：<http://center.soken.ac.jp/index.html>